初台地区公共施設整備基本計画（案）に関するパブリック・コメント
実施結果について

1 実施期間

令和7年7月1日（火）から令和7年7月14日（月）まで

2 意見総数

13件（提出人数：4人）

内訳（メール2人、区公式LINE2人、FAX0人、郵送0人、持参0人）

3 提出された主な意見と区の考え方

別紙のとおり

No.	主な意見	区の考え方
1	児童遊園地の「仮設施設」段階から、防災備蓄施設を設置するよう要望する。	初台地区公共施設整備は地域防災機能の強化を目指しており、仮設施設の運用において防災備蓄の確保を検討していきます。
2	「仮設施設」及び「区民施設跡地施設」について、要支援者のための「福祉避難施設」に指定するよう要望する。初台地区の障がい者がはあとびあ原宿に避難するのは、現実的ではなく、要支援者の避難所は身近に整備すべき。	渋谷区では、災害時に、学校などの一般避難所では必要な支援を受けられない要介護高齢者や重度の障がい者が、適切な設備や支援員のもとで避難生活を送ることができるよう、高齢者施設や障がい者施設を「福祉避難所」として指定しています。今後も、区民の皆様のご意見を伺いながら、これら社会福祉施設の整備を計画的に進めてまいります。
3	十分な施設面積を確保するため、容積を緩和し、用途変更する地区計画を提案する。	用途地域は、地域の特性を活かした調和のとれたまちづくりのため、住宅など建築物の用途や規模などのルールを定めるものであり、個別の施設建替えのみならず初台地域全体のまちづくりとして、多くの地域住民によるまちの将来像についての合意形成とまちづくりの機運が必要と考えています。
4	緑道に仮設施設を建設した上で、新施設を整備すれば、児童遊園地がなくなり、子どもが遊べない期間は生まれない。	法的な規制から、玉川上水旧水路緑道上の仮設施設の設置はできません。
5	緑道再整備について代々木側を先に工事し、現初台出張所前あたりに仮設用地を確保することは可能ではないか。	仮設施設設置期間中の子どもの遊び場は、整備後の緑道や仮設施設・区民施設跡地施設の屋内利用など、仮設施設設置期間中も子どもの遊び場を継続して確保できるよう、引き続き方策を検討します。
6	初台児童遊園地が使用できない期間中は、子ども達は初台大通りを渡って山手通り沿いの児童公園に行くと思うので、事故防止のため、小学校の下校時間から4時間程度、初台大通りを交通遮断して車両の通行を止めてほしい。	交通規制に関しては警察の権限になりますが、担当部署に共有させていただきます。

No.	主な意見	区の考え方
7	区民施設跡地施設 3 階のレクリエーションホールは靴のまま利用できるような床材にしてほしい。	ホールの利用種目を想定し、設計において適切な床材を検討していきます。
8	初台区民施設跡地施設及び敬老館跡地施設の性格を分け、現区民会館は出張所とホール・集会室をメインとした公共性の高い施設に、現敬老館は各種団体の活動拠点・常設的な子ども食堂や入浴施設などコミュニティ活動支援をメインにした施設としてほしい。	地域の皆さまの声を丁寧にお聞きしながら、施設機能や運営体制は今後整理していきます。多世代がご利用いただける施設を目指して今後も検討してまいります。
9	現敬老館は午前 9 時から午後 5 時までの利用となっているが、建て替え後は多世代が使えるような時間枠での運営を希望する。代々木八幡コミュニティセンターのように午後 10 時まで拡大してほしい。	
10	新施設の施設運用開始後は、利用団体で構成される協議会と施設管理者とが定期的に話し合う場を設けることを希望する。	
11	フレンズ本町のように子ども達も遊べる場所を提供してほしい。	
12	漫画・本が置いてあり図書館よりものんびりできるような、子どもや中高生の居場所となる屋内遊び場機能を作してほしい。	
13	景丘の家のような多世代が活用できる空間があればコミュニティのハブになると思う。	